

令和6年12月2日

保護者の皆様

横浜市立小山台小学校  
校長 堀江 公子

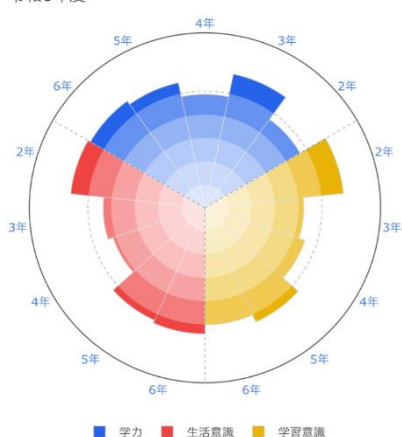
## 横浜市学力・学習状況調査の結果について

令和6年4月に2年生から6年生を対象に実施した、横浜市学力・学習状況調査の結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取組についてご報告いたします。

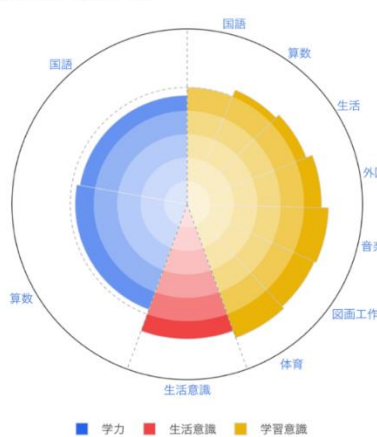
なお、今回の調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面です。また、各学年の平均と横浜市の平均とを比較しての結果を記述しましたので、個々の児童の結果とは異なります。学校といたしましても、この調査結果を客観的資料の一つとして受け止め、個々の児童の結果も分析し、引き続き児童一人ひとりの学力向上に取り組んでまいります。

保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分にご理解いただき、結果についてご覧いただきますようお願いいたします。

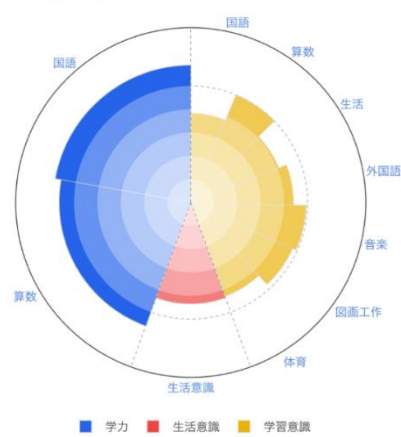
令和6年度



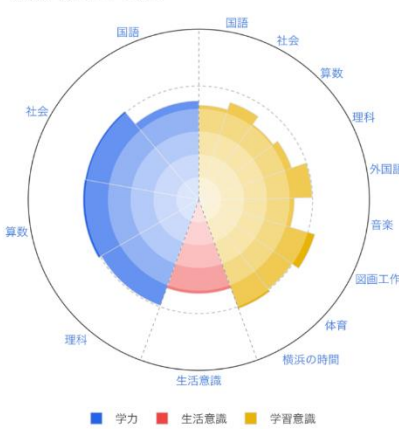
令和6年度 小学2年生



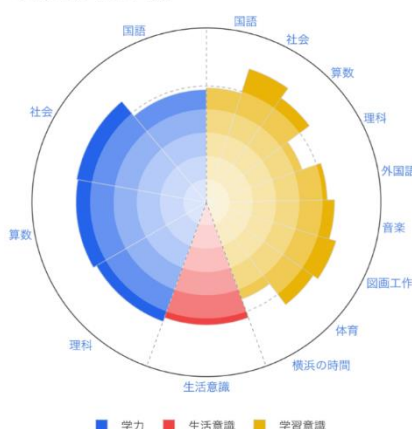
令和6年度 小学3年生



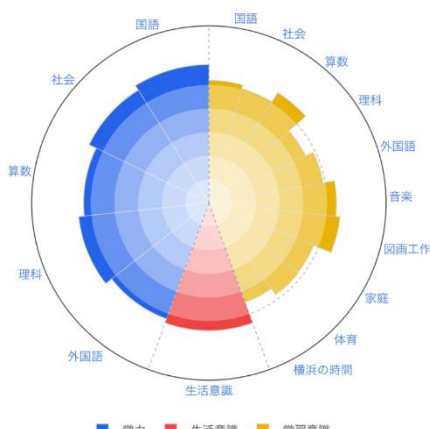
令和6年度 小学4年生



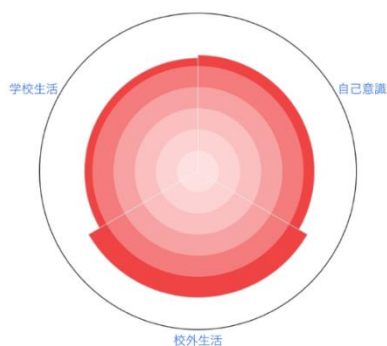
令和6年度 小学5年生



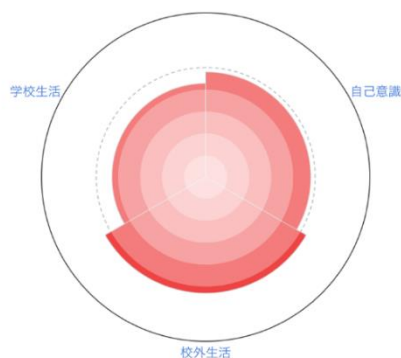
令和6年度 小学6年生



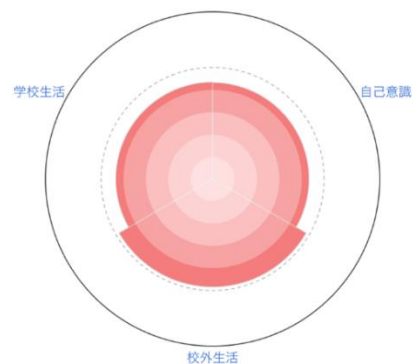
令和6年度 小学2年生 生活意識



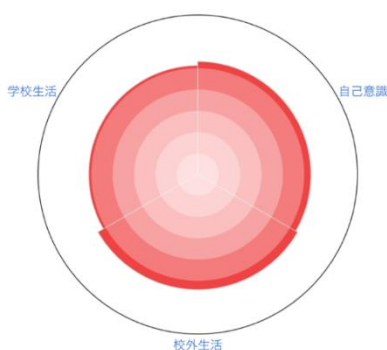
令和6年度 小学3年生 生活意識



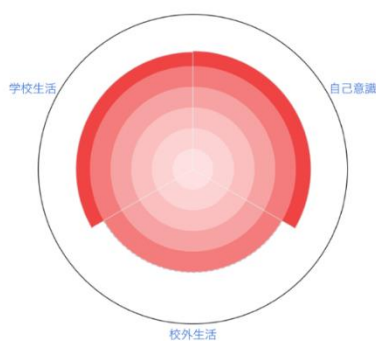
令和6年度 小学4年生 生活意識



令和6年度 小学5年生 生活意識



令和6年度 小学6年生 生活意識



各学年によって、学習面・生活面で差異はあります。その学年の学習意識や生活意識を向上できるように毎日の授業はもちろん、特別活動やたてわり活動においても工夫していきたいと思えます。

#### よさとしてとらえられる面

- どの学年も学習意識の高い教科がある。
- メタ認知、好奇心、共感性が高い児童が多い。
- 朝ごはんを食べている、地域の行事に参加しているなど校外生活の意識が高い児童が多い。
- 自己意識の中では「いじめはどんな理由があってもいけない」「あいさつを自分からしている」などの項目の数値が高い。

#### 課題としてとらえられる面

- 教科によって学力や学習意識にばらつきがある。
- 「自分の考えよりも相手の考えの方がよい考えだと思ったとき、自分の考えを変える方だと思う」「意見が分かれたときには、それぞれの立場になって考える方だと思う」の知的謙虚さが低い児童が多い。
- 「言葉や文字を使って、人と気持ちや意見をやり取りすることが好き」と答えた児童の割合が低い。

調査結果を踏まえ、数値化される学力だけでなく、子ども一人ひとりの意欲や協調性、自制心や継続させる力など、いわゆる非認知能力を高めるための活動も重要であると考えます。これは、教育活動全般で育む力であると思えますので、家庭、地域と協働し子どもたちの健全育成に取り組んでまいります。今後ともご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。